

# 会議報告書

令和3年7月31日

部 会	記念事業部会	部会長	石嶋政博
-----	--------	-----	------

## (1) 概要

議 題	「(仮称) 峰高エリア 100」整備の高校生 WS 会議 アイデア発表会 概要報告
日 時	令和3年7月21日 午後5時30分～午後7時30分
場 所	ルーツ (京丹後市未来チャレンジ交流センター)
出席者	石嶋・田崎・稲本・能勢・大垣・高校5名、1年生の担任先生

## (2) 会議内容

- ・6/22開催の2回目のWSで生徒のアイデア設計図の制作手法研修を行ったので、生徒自身のアイデアを設計図化したものの発表会
- ・生徒のアイデア設計図を基にした大垣設計士の設計図面化には繋がらないことを生徒へ説明する
- ・参加生徒の解散後に担任の先生から取組に将来性が無くなったことに関するクレーム

## (3) 意見交換内容

生徒のアイデア設計図の発表会  
生徒のアイデア設計図の主旨やアイデアの考え方披露に大垣氏と稲本氏より聞き取り助言のやり取りが行われる 6例の生徒アイデア設計図の概要

- ・防音室の設置 (音楽が自由に聞ける・ワイワイしていても気にならない・映画鑑賞できる)
- ・こあがりの床設置 (靴を脱いで座れる・寝そべられる)
- ・テーブルとカウンターを設置 (一人でくつろげる・飲み物を飲める)
- ・区切った小部屋の設置 (ソファやヨギボを置く)
- ・ボードゲームの出来るスペースづくり

※全体に家庭経営室の中に小部屋を設けて活用するアイデアでその小部屋をどう配置するかなどの設計図面化されている (別添参照: アイデア設計図)  
※区切る手法としての壁の高さ (約 160 cmの意味合い) の説明

大垣設計士から聞き取り総論として、学校施設の中での教室利用の制限・規定 (生徒手帳) などの限界があることの説明

- ・田崎部員より、アイデア設計図化したものの発表 (別添コンセプトと図面)

稲本氏より、アイデア設計図を検討してもらったが、学校との協議で「製造責任」のある物品のみの制約と生徒会のルールに基づいた物の制限により、家庭経営室に備品を置く程度となったことから、高校生のアイデア設計図を基に記念事業部会で設置物品について検討いただくこととなったことを説明 (もっと生徒が関わって展開を想定していたが、学校施設の限界があり今後の展開は無くなったこと。生徒手帳のルールや生徒会のルールなどの変更は困難と再確認したことを陳謝)

事業部会長として、ROOTS活動を依頼しておきながら事業展開に学校側との詳細調整ができていなかったことを陳謝。同窓会事業部会としては、生徒のアイデア設計図など今日まで一緒に「エリア100の整備」事業を検討いただいたことを同窓生へ報告し物品購入設置の事業へ反映させることを約束する。

生徒の帰宅後: 先生より生徒のやる気を途中でそぐ結果となったことについて今日までの取組をも残念だとしたクレームがあったが、生徒のWSとしてROOTS活動は生徒にとってはいい経験となったし事業部会としても生徒のアイデアを活かす事業とすることを約束21か7/28に開催する

(4) 備考 製造責任のある物品となるとメーカー品となり、生徒のアイデアを活かす備品購入につなげる必要。エアコン設置工事費が高額であることから簡易冷房装置の購入検討も・・・  
8/2に事業部会で今日までの経過説明と今後購入物品のリスト化手法を検討する

